

1) スポーツ分野の統括業務の実施

運動クラブの統括管理と大学ブランディングを担い、学内従来業務と横断統合し、さらなる連携を担う部署【スポーツ局】創設のため、学長諮問機関からなる委員会組織の一つとして2017年4月から開設しました。なお、スポーツ局は2018年4月創設予定です。

2) 大学スポーツ・アドミニストレータの配置

3分野において、専門的な人材の配置を想定しています。

・ハイパフォーマンスおよびアスリート・クラブサポート分野	・スポーツプロモーション分野	・スポーツ事業管理分野
学生アスリート、指導者、スタッフ等の支援をスポーツ科学の知見を活用し、全学的な体制や環境を整備しながら推進	スポーツにおける地域振興や社会貢献、スポーツ科学研究の事業化を図り、それらのPR・周知の企画・推進	教育・研究・スポーツ事業の連携した事業管理体制を整備、統括・横断的な管理業務の推進

3) 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

「スポーツが持つ力で、まちを活性化させる」を目的、テーマとして、体育専門大学として培われた教育メソッド、研究成果、人材、先進的な施設等を有効活用し、多くの地方自治体の課題となっている「少子高齢化による、まちの活力の低下」の解決につながる実践的なプログラムを提供します。スポーツが持つ力でまちを活性化させ、ビジネスや雇用創出までを展望する“スポーツによる活力ある地域づくり”を実践できる事業モデルの検証に取り組みます。

子どもたちを対象とするジュニアスポーツの振興モデルの検討 <input type="checkbox"/> ジュニア競技者の育成とスポーツ科学サポートの充実 <input type="checkbox"/> 連携校である浪商中・高でのアスリートの発掘・育成 <input type="checkbox"/> 周辺地域自治体への指導者・スタッフの派遣	これまでの実績 ・子どもスポーツクラブ ・学生によるスクールサポーター ・子ども運動教室 ・OUHS スポーツキャンプ (2003年度～) など
誰もが楽しめるスポーツ環境整備のためのアダプテッドスポーツの振興事業モデルの検討 ・アダプテッドスポーツ実施者の外傷・障害研究、特別支援学校生徒へのスポーツ実践の機会提供 ・装具などの技術・安全性向上のための用具開発	これまでの実績 ・特別支援学校生徒へのスポーツ指導 (2004.4～) ・泉佐野ふれあいキャンプ ・特別支援教育トワイライト研修会 (2010～) など
スポーツ愛好家を対象とするシニアスポーツ振興モデルの検証 ・シニア層のスポーツ愛好家のためのプログラム開発・健康増進研究の実施 ・シニアアスリートへの科学的・実践的支援	これまでの実績 ・くまとりロードレース大会の開催協力 ・大阪体育大学で健康チェック ・熊取町まちスポ支援事業 など
中高齢者を対象とする健康寿命の延伸に係る事業モデルの検証 ・健康プログラムの実施、介護予防事業の展開と、それらを通じた周辺自治体との健康増進研究の実施	これまでの実績 ・体力若返り講座、地域リーダー育成講座 ・おはようスポーツ (高齢者向け早朝プログラム) ・熊取町まちスポ支援事業 など
社会貢献型ビジネスの展開による収益事業モデルの検証 ・競技団体や地方自治体事業との連携 (タレント発掘や育成・強化支援、体験会の開催など) ・地方自治体とのスポーツ振興事業の企画・開発	これまでの実績 ・ボート競技タレント発掘トライアウト in 大阪体育大学 ・「たじりっち体操」の考案と普及活動

4) 学産官連携協議会への協力

スポーツ庁で推進される「学産官連携協議会」への積極的参加、協力、また、関西圏の大学有志で構成する「大学スポーツ振興関西地区検討会」での取り組みで推進される事業に積極的に情報提供を行い、その開催と取り組み事業の推進に貢献します。